

はじめに



総合計画に込めた思い

このたび、平成28年度を初年度とする「松阪市総合計画～住みやすさ進行中！バージョンアップ松阪～」を策定しました。この総合計画では、松阪市の10年後の将来像として「ここに住んで良かった・・・みんな大好き松阪市」を掲げています。

現在、松阪市では少子高齢化や若年人口の都市部への流出による人口減少が進んでいます。これに歯止めをかけるため、「子育てがしやすいまちを創り、松阪をより魅力的なまちにしたい!」と考えています。

次世代を担う子どもたちが元気に健やかに暮らせるまちであることはすべての世代の願いです。子どもたちが輝き地域が元気になるまちづくりを核として、この総合計画に掲げた政策・施策を実行していきます。

また、この総合計画では、特に“数値”を用いた目標設定を行うことにこだわりました。これによって、目標の達成・未達成の判断が容易になり、各施策のめざす方向を市民のみなさんへ明確に示していきます。

総合計画の策定にあたっては、市民5,000人を対象とした「市民意識調査」の実施や、延べ684人が参加した市民懇談会「松阪市の未来を語る会」、公募委員や各種団体の代表者で構成される「総合計画審議会」を開催するなど、市民のみなさんと一緒になって創りあげてきました。この計画について知らなかったという市民のみなさんにもぜひこの計画を読んでいただき、ともに松阪市の未来について考えていただきたいと思います。松阪市にかかわるすべての人々が知恵と力を出し合い、心から「ここに住んで良かった!」と思える松阪市を創りあげていきましょう。

最後に、この総合計画の策定にあたり貴重なご意見をいただきました市民のみなさんをはじめ、関係者の方々へ感謝を申し上げます。

平成29年2月

松阪市長

竹上真人